

# 概要版



## 中山間地域等買い物弱者対策モデル実証業務 実施報告書

2022年3月22日



## 目的

富山県は、人口減少や少子高齢化の進行、郊外への大型店の進出等により、地域に近接した商店が減少したことで、生鮮食料品や日用品の購入が困難となっている「買い物弱者」が増加傾向にあります。

住み慣れた地域で長く安心して生活するために、持続性の観点からも行政や事業者等の負担が少なく、地域住民のニーズに応じた魅力的な買い物サービスを構築することが求められています。

当社は、上記の社会的ニーズに加え、自立した高齢者や障がい者の買い物等の外出支援の目的を果たす今回の買い物弱者対策モデル実証によって、利用者のニーズやサービスの流れ、並びに採算性等の課題を検証し、本事業が持続性のあるサービスにするためのポイントを整理します。

## 背景

- 高齢者の増加 → 身体機能の低下による行動範囲の縮小（運転困難者の増加）
- 核家族化 → 高齢者の独居世帯や老老介護の増加
- 地域コミュニティの弱体化 → 地域による支えあい機能の低下
- モータリゼーションの進展 → 自家用車の急速な普及と人口減少で、公共交通機関の利用激減に伴う減便および廃線
- 人口減少 → 小売店の廃業、撤退



事業レビュー・調査概要

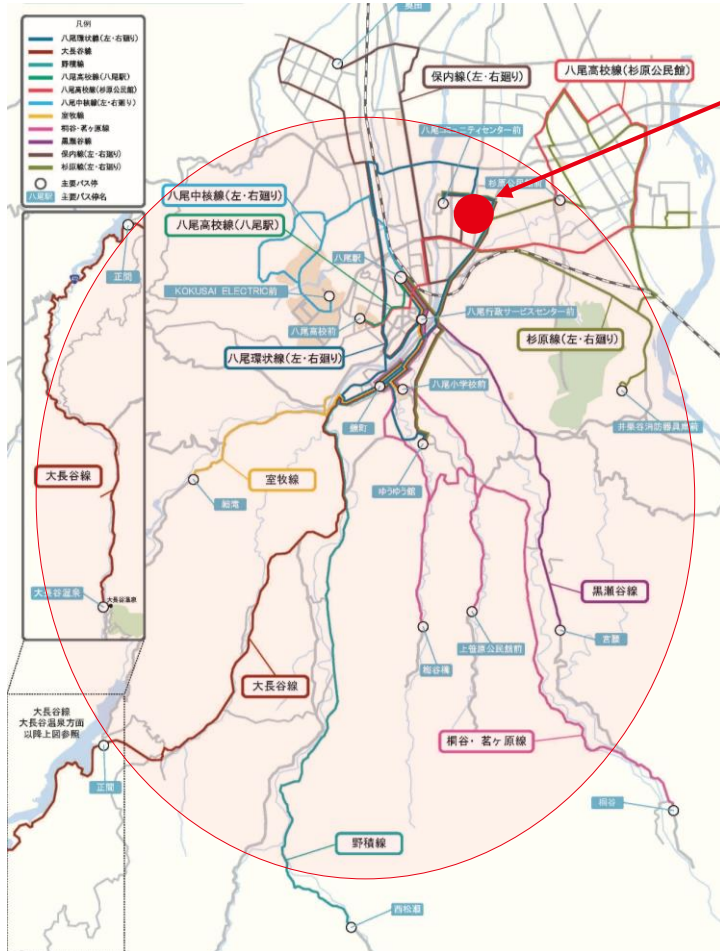
---

# 事業レビュー（八尾広域エリア内での立ち寄り場所）



## 停留所

八尾広域エリア内で、利便性の高い施設を運行



### 八尾ショッピングセンター（旧 風の街・モア） 当店を中心とした商業複合施設



### 日々の生活において必要性や利便性の高い施設 = 駐車場（一例）



### 中山間地区のバスルートと駐車場（一例）

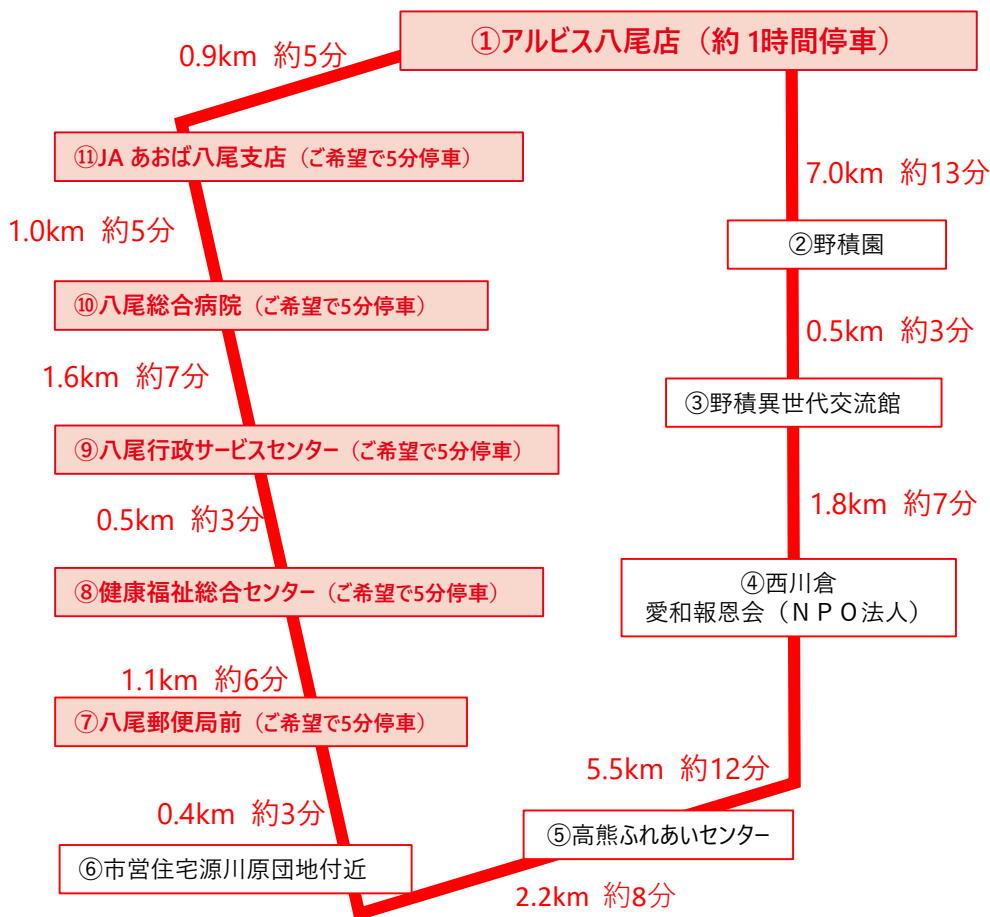


# 事業レビュー：お買物バスAルート 野積～西川倉～高熊 地区コース（通常所要時間 約90分）



**Aルート** 八尾ショッピングセンターを拠点として、野積～西川倉～高熊 地区を巡回。  
行政センター・医療機関、JA、郵便局などにも停車、日常生活の利便性を提供。

野積～西川倉～高熊 地区コース（通常時間 約80分）



お買物バス 停留所	往路 到着時間 出発時間	復路 到着時間 出発時間	停車時間
①アルビス八尾店	10:00	12:45	60分
②野積園	10:13 10:14	12:58 12:59	1分
③野積異世代交流館	10:17 10:18	13:02 13:03	1分
④西川倉 愛和報恩会	10:25 10:26	13:10 13:11	1分
⑤高熊ふれあいセンター	10:38 10:39	13:23 13:24	1分
⑥市営住宅 源川原団地付近	10:47 10:48	13:32 13:33	1分
⑦八尾郵便局前	10:51 10:56	13:36 13:37	*5分
⑧健康福祉総合センター	11:02 11:07	13:43 13:44	*5分
⑨八尾行政サービスセンター	11:10 11:15	13:47 13:48	*5分
⑩八尾総合病院	11:22 11:27	13:55 13:56	*5分
⑪JA あおば八尾支店	11:32 11:37	14:01 14:02	*5分
⑫アルビス八尾店	11:42	14:07	*ご希望があった場合

**Aルート**  
**野積～西川倉～高熊 地区コース**  
**(通常時間 約80分)**



①アルビス八尾店 (1時間停車)



②野積園



⑪JA あおば八尾支店



③野積異世代交流館



⑩八尾総合病院



④西川倉 愛和報恩会 (NPO法人)



⑨八尾行政サービスセンター



⑤高熊ふれあいセンター



⑧健康福祉総合センター



⑥市営住宅  
源川原団地付近



⑦八尾郵便局前

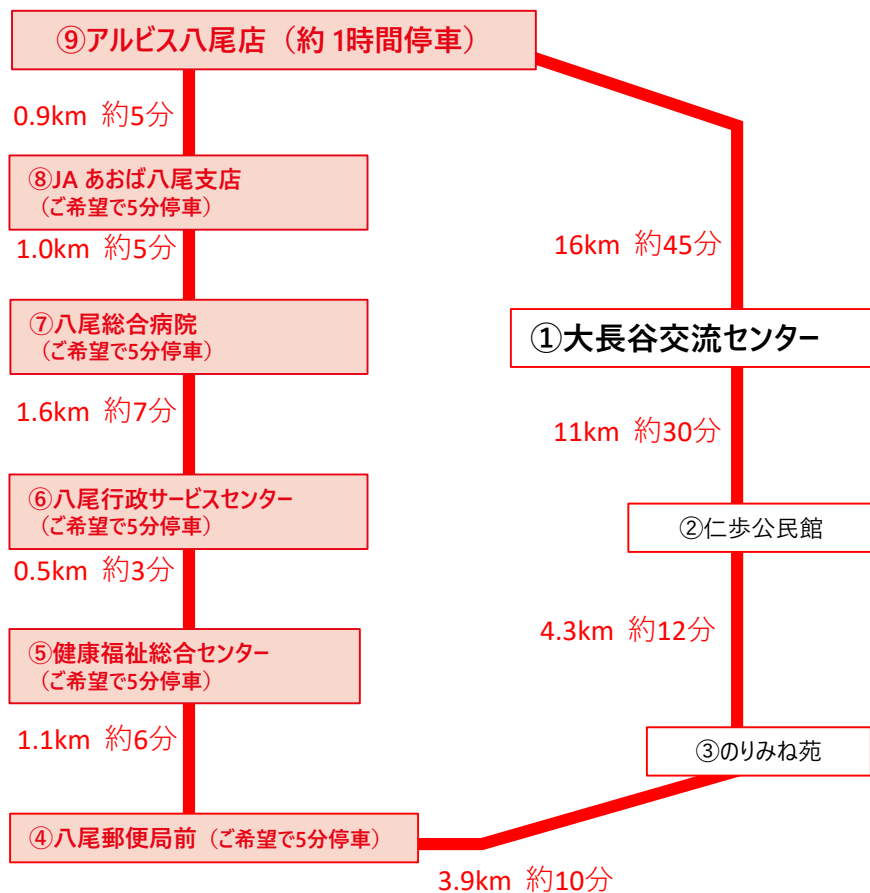
# 事業レビュー：お買物バスBルート 大長谷～仁歩～乗嶺地区コース（通常所要時間 約90分）



Bルート

八尾ショッピングセンターを拠点として、大長谷～仁歩～乗嶺 地区を巡回。  
行政センター・医療機関、郵便局などの公共施設などにも停車、日常生活の利便性を提供。

大長谷～仁歩～乗嶺地区コース（通常時間 約90分）



お買物バス 停留所	往路 到着時間 出発時間	復路 到着時間 出発時間	停車時間
●アルビス八尾店		13：00	60分
①大長谷交流センター	10：15	13：45	1分
②仁歩公民館	10：45 10：46	14：15 14：16	1分
③のりみね苑	10：58 10：59	14：28 14：29	1分
④八尾郵便局前	11：09 11：14	14：39 14：44	*5分
⑤健康福祉総合センター	11：20 11：25	14： 14：47	*5分
⑥八尾行政サービスセンター	11：28 11：33	14：50 14：51	*5分
⑦八尾総合病院	11：40 11：45	14：58 14：59	*5分
⑧JA あおば八尾支店	11：50 11：55	15：04 15：05	*5分
⑨アルビス八尾店	12：00	15：10	*ご希望 があった 場合

**Bルート**  
**大長谷～仁歩～乗嶺 地区コース**  
 (通常時間 約90分)



⑨アルピス八尾店 (1時間停車)



⑧JA あおば八尾支店



⑦八尾総合病院



⑥八尾行政サービスセンター



⑤健康福祉総合センター (15分停車)



④八尾郵便局前



①大長谷交流センター



②仁歩公民館



③のりみね苑

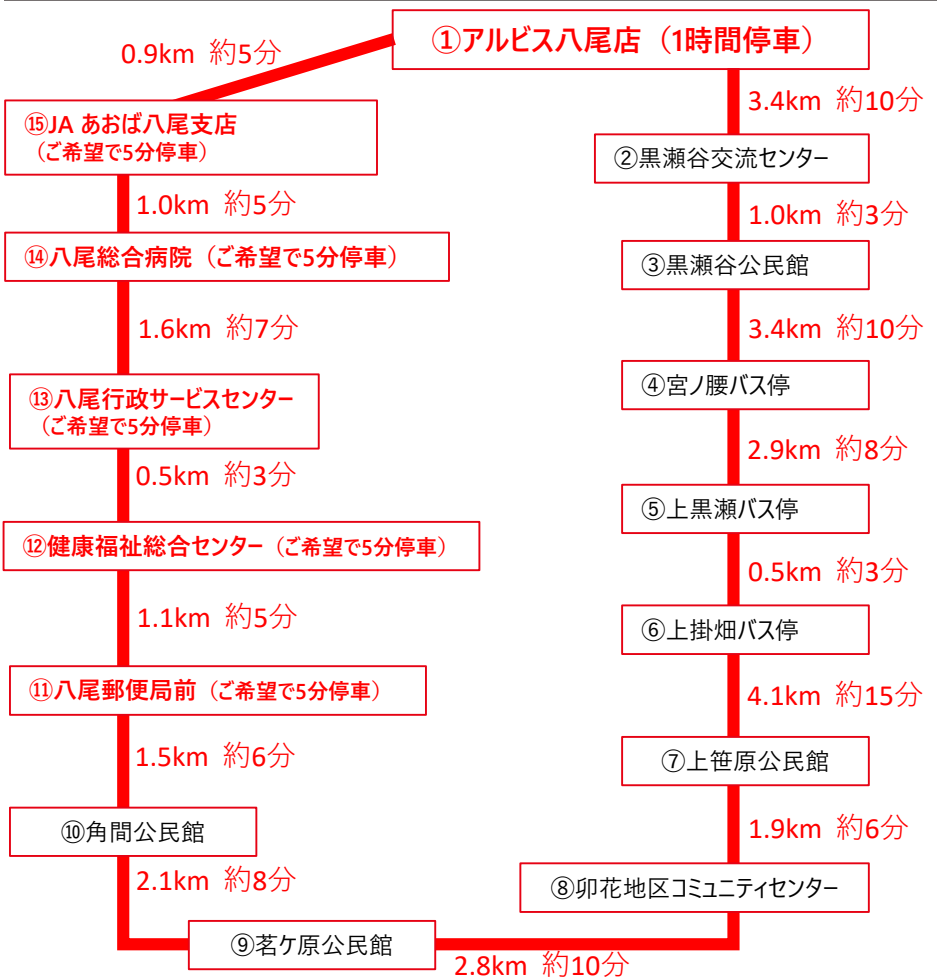


# 事業レビュー：お買物バスCルート 黒瀬谷～上掛畑～上笹原 地区コース（通常所要時間 約120分）



**Cルート** 八尾ショッピングセンターを拠点として、黒瀬谷～上黒瀬～上掛畑～上笹原 地区を巡回。  
行政センター・医療機関、郵便局などの公共施設などにも停車、日常生活の利便性を提供。

黒瀬谷～上黒瀬～上掛畑～上笹原 地区巡回コース（通常時間 約120分）



お買物バス 停留所 (案)	往路 到着時間 出発時間	復路 到着時間 出発時間	停車時間
①アルビス八尾店	09 : 32	13 : 00	60分
②黒瀬谷交流センター	09 : 42 09 : 43	13 : 10 13 : 11	1分
③黒瀬谷公民館	09 : 46 09 : 47	13 : 14 13 : 15	1分
④宮ノ腰バス停	09 : 57 09 : 58	13 : 25 13 : 26	1分
⑤上黒瀬バス停	10 : 06 10 : 07	13 : 34 13 : 35	1分
⑥上掛畑バス停	10 : 10 10 : 11	13 : 38 13 : 39	1分
⑦上笹原公民館	10 : 26 10 : 27	13 : 54 13 : 55	1分
⑧卯花地区コミュニティセンター	10 : 33 10 : 34	14 : 01 14 : 02	1分
⑨茗ヶ原公民館	10 : 44 10 : 45	14 : 12 14 : 13	1分
⑩角間公民館	10 : 53 10 : 54	14 : 21 14 : 22	1分
⑪八尾郵便局前	11 : 00 11 : 05	14 : 28 14 : 29	* 5分
⑫健康福祉総合センター	11 : 10 11 : 15	14 : 34 14 : 35	* 5分
⑬八尾行政サービスセンター	11 : 18 11 : 23	14 : 38 14 : 39	* 5分
⑭八尾総合病院	11 : 30 11 : 35	14 : 46 14 : 47	* 5分
⑮JA あおば八尾支店	11 : 40 11 : 45	14 : 52 14 : 53	* 5分
①アルビス八尾店	11 : 50	14 : 58	* ご希望があった場合



①アルピス八尾店 (1時間停車)



②黒瀬谷交流センター



③黒瀬谷公民館



⑮JA あおば八尾支店



⑭八尾総合病院



⑬八尾行政サービスセンター



⑫健康福祉総合センター



⑪八尾郵便局前



⑨茗ヶ原公民館



⑧卯花地区コミュニティセンター



⑦上笹原公民館

**Cルート**  
**黒瀬谷～上黒瀬～上掛畑～上笹原**  
**地区巡回コース (通常時間 約120分)**

④宮ノ腰バス停

⑤上黒瀬バス停

⑥上掛畑バス停

黒瀬谷線

宮腰

桐谷・茗ヶ原線

桐谷

八尾駅

八尾高校前

左・右廻り

線

線

街安瀬

上笹原公民館前

ゆうゆう館

館町

八尾小学校前

八尾行楽

八尾駅

①

⑭

⑮

⑫

⑪

②

③

⑥

⑦

⑤

④

③

⑨

⑩

⑬

⑭

⑮

## ●2021年9月18日／新聞折り込みチラシ（5紙）

### チラシ表

### チラシ裏

## ●ポスター・POP掲示（一例）



アルビス八尾店サービスカウンター



八尾総合病院出入り口



八尾健康福祉総合センター出入り口

# 調査概要



調査対象 バス利用者すべて  
 調査期間 2021年10月1日（金）～10月29日（金）  
 調査手法 バス利用者にアンケートの記入  
 利用者状況

	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
全体	5	2	7	18	25	4
男性	0	0	0	3	8	
女性	5	2	7	15	17	

全61名 70代以上の利用が全体の70.9%

- 調査ルート ①大長谷～仁歩～乗嶺 地区コース（毎週金曜日運行）  
 ②野積～西川倉～高熊 地区コース（毎週水曜日運行）  
 ③黒瀬谷～上掛畑～上笹原 地区コース（毎週水曜日運行）

お買物バス  
アンケート

乗車日 10月 日  
 午前便  午後便  
 (お店行き) (お帰り)

乗車コース ① 野積～西川倉～高熊 地区コース  
 ② 大長谷～仁歩～乗嶺 地区コース  
 ③ 黒瀬谷～上掛畑～上笹原 地区コース

該当の項目に○印をご記入ください。

Q1. あなたの性別・年齢をお知らせください  
 (性別) ① 男性 ② 女性  
 (年代) ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

Q2. 現在、お住まいのエリアをお知らせください  
 ① 八尾地区 ② 黒瀬谷地区 ③ 室牧地区 ④ 仁歩地区  
 ⑤ 大長谷地区 ⑥ 野積地区 ⑦ 卯花地区 ⑧ その他( )

Q3. 1週間あたりのお買物の頻度を教えてください  
 ① 毎日 ② 週に5日程度 ③ 週に3日程度 ④ 週に1日程度 ⑤ その他( )

Q4. よく行くお買物の曜日を教えてください  
 ① 月曜日 ② 火曜日 ③ 水曜日 ④ 木曜日 ⑤ 金曜日 ⑥ 土曜日 ⑦ 日曜日

Q5. 今回はどこのお店に行きましたが 行ったお店を全てお知らせください  
 ① アルビス ② 行政センター ③ 健康福祉総合センター ④ 郵便局 ⑤ JA ⑥ 八尾総合病院  
 ⑦ しまむら ⑧ くすりのアオキ ⑨ 8番ラーメン ⑩ セリア ⑪ その他( )

Q6. 行きたい、立ち寄ってほしい場所がありますか  
 \_\_\_\_\_

Q7. 今回のサービスについて当てはまるものをお知らせください  
 ① 非常に良い ② 良い ③ 普通 ④ あまり良くない ⑤ 良くない

Q8. 上記と回答した理由をご自由にお書きください  
 \_\_\_\_\_

Q9. 今回のサービスが続く場合、継続してご利用するか教えてください  
 ① 利用する ② たまに利用する ③ 利用しない

Q10. 上記と回答した理由を具体的にお知らせください  
 \_\_\_\_\_

Q11. また今回のサービスが「有料」の場合、1回あたり、いくらまで許容できますか  
 ① 有料なら使用しない ② 100円 ③ 200円 ④ 300円 ⑤ 400円 ⑥ 500円 ⑦ その他( )

お帰りにご乗車の方は、富山県との実証実験として、今後への運行の参考にさせていただきますので、  
 すべてのお買物レシートの記録撮影にご協力ください。

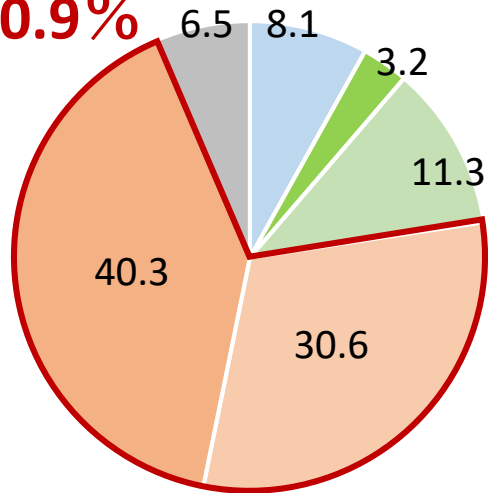
ご協力いただきまして、ありがとうございました。尚、お答えいただいた内容は集計後、アルビスが責任をもって  
 処分いたしますので、皆さまにご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。

### バス利用者

メインは70代以上。  
各コース別で見ても、70代以上の  
利用者が圧倒的に多い。

70代以上

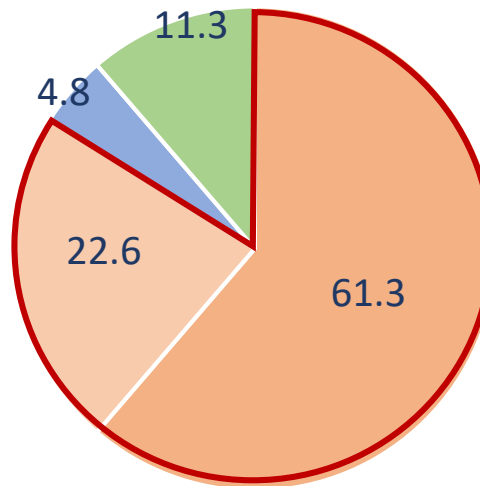
**70.9%**



- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- 80代以上
- 不明

### 継続利用意向

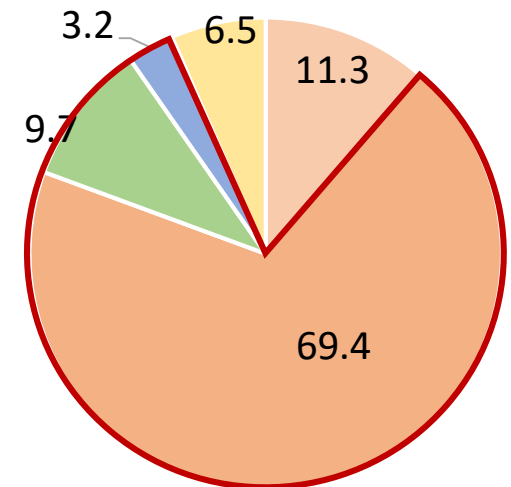
8割以上が利用意向あり。  
コース別に見ても半数以上が継続  
利用意向あり。



- 利用する
- たまに利用する
- 利用しない
- 不明

### 有料利用意向

金額100円以上払っても利用を  
したい人は82.2%  
各コース別で見ても、100円  
(69.4%) 以上が圧倒的に多  
⇒一定数のニーズがあると思われ  
る。



- 有料なら利用しない
- 100円
- 200円
- 300円
- 不明

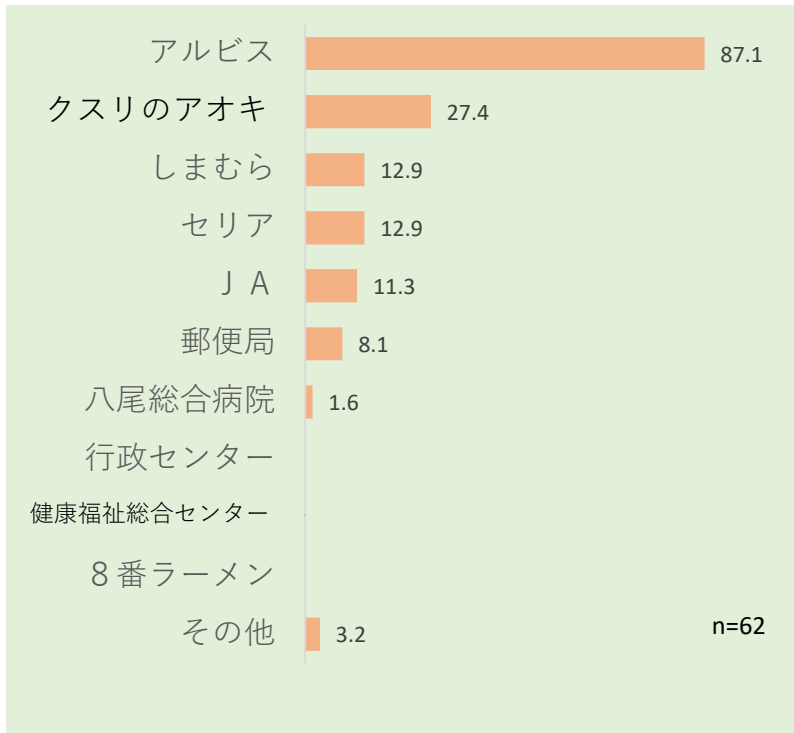
# 来店訪問箇所（コース別）



行き先は全コースともアルビス（スーパー）が多く、日用／食料品を求めるユーザーが多い。また、クスリのアオキ（薬局）なども高く、日用品を求めるニーズが多いことがうかがえる。

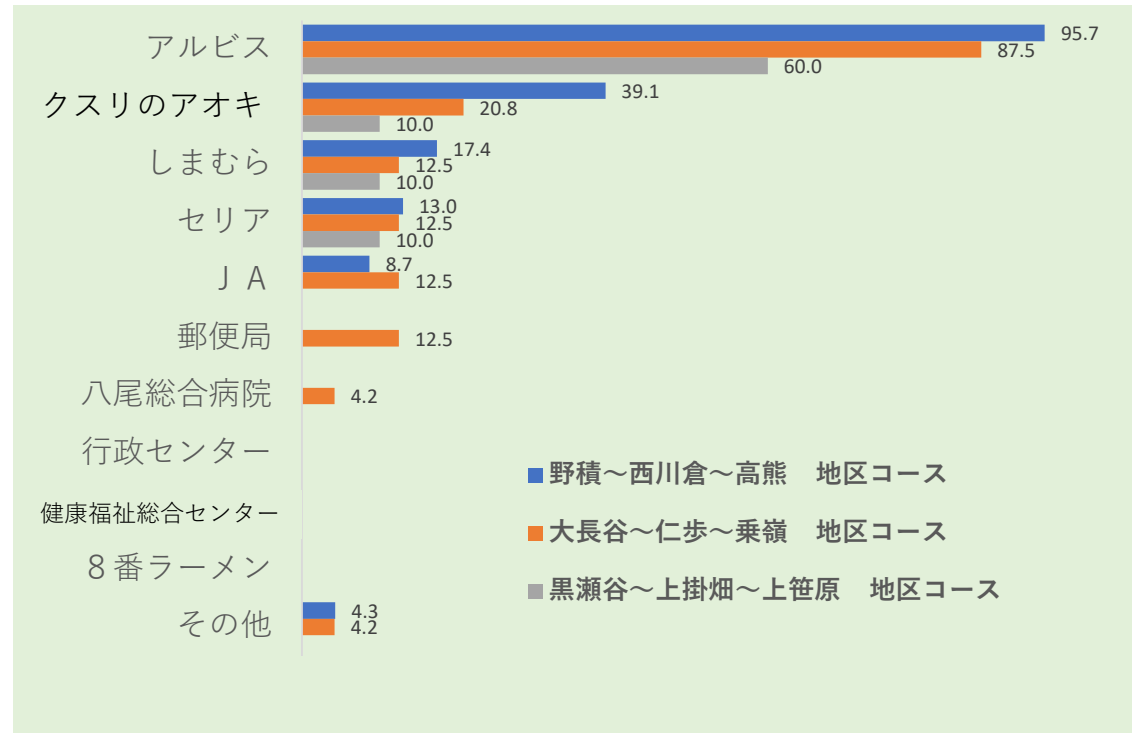
## ■ バス利用者全体

単位：%



## ■ コース別行き先

単位：%



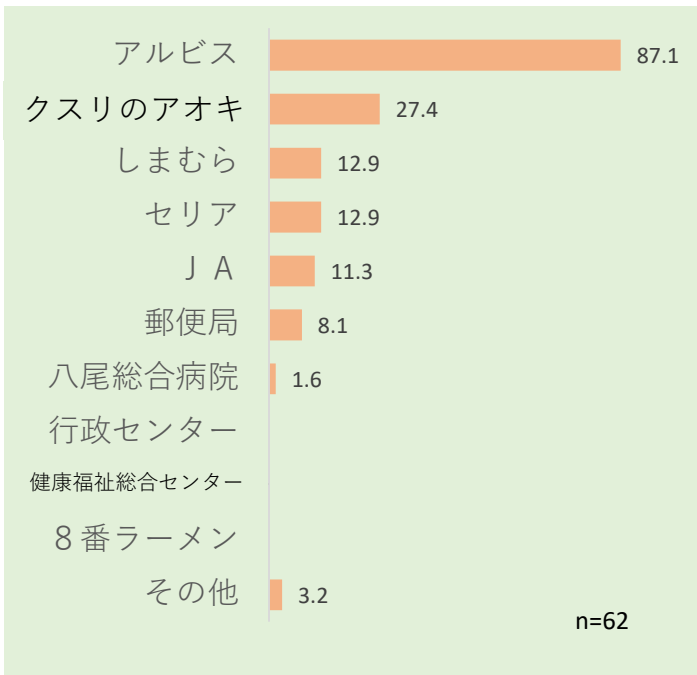
## 来店訪問箇所（継続利用意向・バス代有料許容別）



継続利用意向者の行き先を見ると、アルビス（スーパー）やクスリのアオキ（薬局）等の割合が高く、食料品や日用品を求めるニーズが多いことがうかがえる。  
また、「バス代を払っても良い（有料許容）」と回答した方も、アルビス/クスリのアオキを行先としている割合が高い。

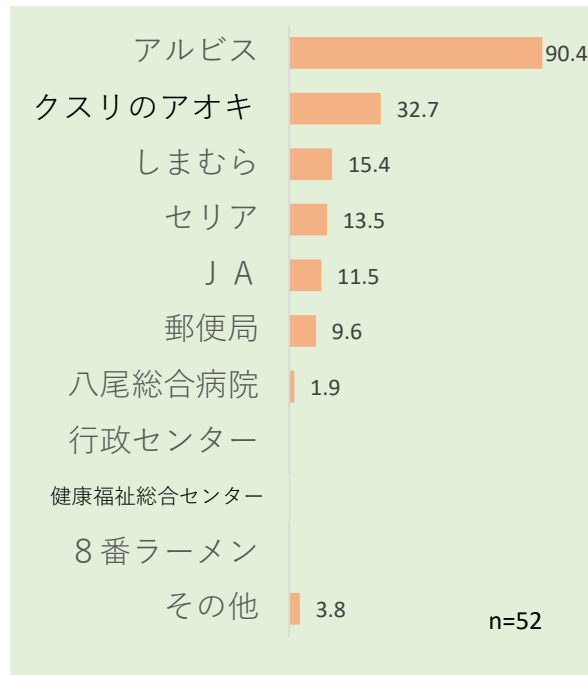
### ■ バス利用者全体

単位：%



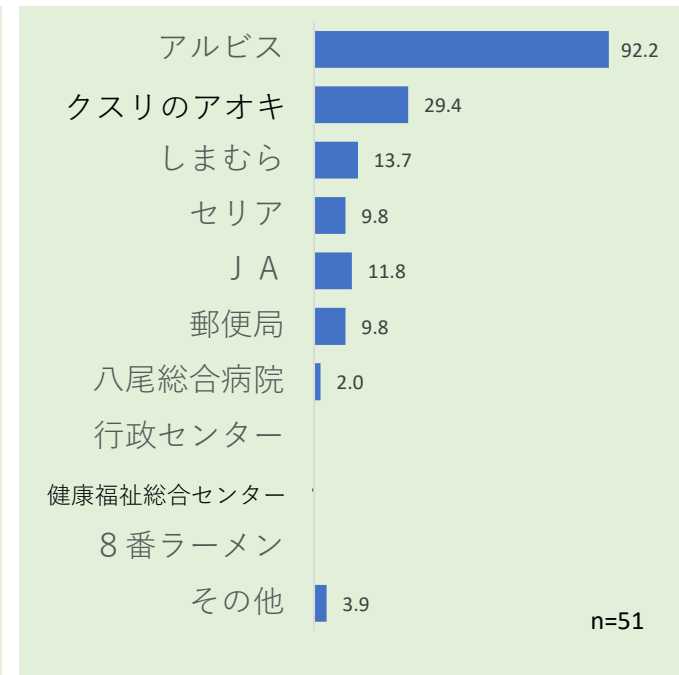
### ■ 継続利用意向あり

単位：%



### ■ 有料利用許容

単位：%



- 「肉類」や「鮮魚類」の購入金額が事前の想定よりも大幅に少なかった。
- 菓子・パン類を中心に「保存ができて日持ちがする」商品のニーズが最も高い一方、調理の手間がかからず、そのまま食べられる「惣菜類」も人気があった。
- 食料品に加えて、洗剤や衣類、クリーニング等の利用も多く見受けられた。

など

利用者の70%以上が70～80歳代、日頃の食生活や普段の生活スタイルが垣間見え、買物商品の結果に反映されているものと推測される。



## 自由記述欄における主な意見①

性別	年代	サービス評価理由
女性	80代以上	家族に買い物に連れて行ってもらえるが、気兼ねで心置きなく買い物ができない。生協もあるが、冷凍ものが多く生魚が食べられない。スーパーに行けるのは良い。
女性	40代	土日のどちらかでも運転してもらえると、小学生の子どもたちも乗れて良い。これから冬になると今よりさらに必要になるので、とても良いサービスです。
男性	80代以上	普通だと、バスを乗り継がなければいけないが、これだと直行で便利。
女性	40代	子どもたちとのSDGsの取り組みにもぴったり。子どもたちも喜んでいました。
女性	70代	行きはできるだけ早くアルビスについた方が、いろいろな場所を回れるので早く着きたい。米などの重いものを買った時は、通り道で降ろしてもらえるのでありがたい。
女性	80代以上	一人暮らしだから助かります。
男性	70代	自分の行きたいところに立ち寄りしてくれる。
男性	80代以上	来年よりぜひ利用したい。
男性	80代以上	便利



## 自由記述欄における主な意見②

性別	年代	サービス評価理由
女性	80代以上	<u>移動販売が良い</u>
女性	60代	<u>寄るところが多すぎて、時間がもったいない。</u>
女性	50代	バスの乗車時間が長い。先にアルビスに寄ってほしいと住人の方が言っていました。乗りっぱなしは同じ体勢でからだが痛い。
女性	60代	移動販売車が来るなら、金融機関等はあまり必要ないかも。
女性	60代	<u>帰りは直行便でも良い。</u>
女性	70代	実験では停車時間が長い。
女性	50代	楽ちんでした。高齢者が多いのでスタッフが後方の席に座っていただけたらと思いました。今後は、足の悪い方を前の席に。
男性	80代以上	梅谷橋までバスが来てほしい。



## 自由記述欄における主な意見③

性別	年代	サービス評価理由
女性	80代以上	<u>乗車時間が長い。</u>
女性	60代	<u>乗降りする場所が少ない。</u> フラグストップにできないか。
女性	60代	今回は実証実験ですが、 <u>ジャンボタクシー、マイクロバスでもいいと思う。</u> お盆や年末年始、雪の時期限定でも良いかもしれない。
女性	40代	昔、バスが走っていた時と同じようなシステムが良い。 <u>時間、場所、立ち寄れるのは便利そうだが、実際はそれによって待ち時間がかかってバスに乗る時間が長くなる。</u> 5分以内で済まされる用事は少ないし、皆さんアルビスを目的に乗るので直行で便でいいのでは。 <u>お年寄り買い物に時間がかかるため、その分アルビスでの買い物時間を長くしたら良い。</u>
女性	80代以上	とても助かります。
男性	80代以上	<u>自分で運転しないで済む</u>
女性	80代以上	<u>病院に来たついでに寄れる。</u>
女性	80代以上	<u>都合のいい時間にバスが出てくれてありがたい。</u> コミュニティバスを利用していたが、時間がなかなか合わない。

これらの課題に優先的に  
取り組むことが効果的

アルビス八尾店  
お困りごと  
よるず相談所

- かぎ
- 水回り
- 電気
- ガラス

その他お住まいのトラブル  
何でもお気軽にご相談ください!

RESCUE310 ☎ 0120-947-310  
受付 毎日 水曜日・金曜日 10:00~15:00

課題	解決のためのポイント
乗車時間が長い	中山間地域でも奥地に住む住民の買い物支援を重視した実証実験であったが、乗車時間に関する意見が大長谷地区が多かったことから、この地区は移動販売車での対応で解決。交通手段がないことへの意見が多く寄せられた八尾町旧町の住民の対応策を検討する。
乗降りする場所が少ない	市内を走るコミュニティバスの停留所が遠いため利用につながりにくいことをうけ、高齢者の歩く負担を考慮し、停留所の間隔をできるだけ短くする。
大型バスの運行は費用がかかる	小型マイクロバスや大型自動車の活用で移動バスの小型化を検討する。
立ち寄り場所は便利だが待ち時間が長い	運行回数を増加させることで利便性の確保、行きたい場所での待ち時間の解消をする。



**経済性と利便性のどちらの改善にも目を向け、本事業モデルのサービス向上につなげる必要があるが、採算性の検討も必要！**



## ●今回の実施方法およびコストの検証

今回、本事業を行うにあたり、当社は事業免許を持つ外部の専門会社と協業し、車両や運転手、あるいは詳細な運行計画等を検証いただき実施したが、大まかな費用は右記の通り。

\* 但し、当社人件費、自社広告費等は費用回収ができていない。

・企画および事業計画費	約 200,000円
・バスや運転手等、役務提供費	約1,100,000円 ※1運行あたり概ね100,000円強
・広報費（チラシやポスター等の製作）	約 350,000円
・調査および分析費	約 300,000円

## ①コスト圧縮等での事業採算化は非常に困難

今回のように外部へ委託する場合、専門会社のコストは国交省により「運行距離」と「時間」によって決められているため、費用の圧縮を図ることは非常に困難である。

また一方、自社内で車両および専任スタッフを配置した場合、車両や燃料、保険等の関連費用と人件費等を積算すると1台あたり、年間で約800～1,000万円程度のコストが発生するため、社内での事業化および採算化も非常に厳しい（概ね1運行あたり、推計60,000～80,000円）

## ②受益者負担（運賃の有料化）を組み合わせても採算確保は難しい

さらに、運賃の有料化を検討した場合、今回のアンケートで「100円なら利用」との回答が約70%（往復で200円）を占めており、1運行あたりのコストを10万円と仮定すると、最低500名の乗車がマストとなり、「事業実現の可能性はない」という判断になる。

また、利用者の買い物金額を運行費用から差し引くとの考えは成り立たない。

\* お買い上げいただいた商品は原価や流通費がその殆どを占めるため。

## ●本事業を今後も持続的に進めていくためには・・・●

- ・短期（3年程度）の採算確保は不可能、富山県および関係市町村等、行政からの補助が必須
- ・現在、既にコミュニティバスを運行している市町村では、「運行ルート」や「時刻表」を再検討・調整の必要
- ・流通企業とタクシー会社など、民間企業同士の合資やアライアンスの斡旋や促進を図り、事業者を支援

- ・10月からの実施にあたり、8月下旬から、八尾行政センター、各地区センターに実施の案内を依頼、ポスターや回覧板での周知の協力をお願いした。
- ・9月初旬から、停車場に事業の説明と停留を依頼、時刻表付きポスターの掲示協力のお願いに回った。

■事前依頼書



■時刻表付きポスター



上記以外の告知物は、新聞（5紙）の折込チラシ、当社チラシ、ホームページ、アプリであったが、乗車された方に聞くと、各々のチラシ、回覧板で知った声が多く聞かれた。また、テレビ局や新聞社等のニュースの反響が大きく、利用率が上がった。プレスリリースは欠かせない。

■2021年9月18日／北日本新聞折り込みチラシ



■北日本新聞 10月2日記事



- 事業が終わりに近づいてから、本事業を知り、積極的に利用したいという声が多く聞かれた。
  - 初めての取り組みだったこともあり、八尾地域の方にとっては様子見段階であったと思われる。
- 潜在的な需要が見込まれ、認知度を向上させると利用者はさらに増加すると思われる。

告知の手段やタイミングを再度、検討する必要がある。

告知の量も増やさないと、利用者増加につながらない。

## 本事業を終えて ② 【運営面】

●行政の駐車場や告知に関することのサポートはとてありがたく、地域住民の買い物状況を支援したいという表れだと感じた。

●高齢者だけでなく、障がい者の買い物支援もできればと停車場に障がい者福祉施設を組み込んでみたが、平日は作業のため休日に買い物をしているということであった。施設所長から、休日に職員が車でスーパーへ送迎していることもあり、休日の運行ができれば体験をさせてあげたいとの意見も。

●八尾総合病院から通院のためではなく、診察後の買い物で利用するケースもあった。一度利用された方が再度、利用されたこともあり、このようなニーズにも対応が必要。

●当初、中山間地でも奥地にお住まいの方の利便性を重視していたが、長時間バスに乗車していることを考慮すると、高齢者の方には、トイレの心配もあり、直行便でないと実施は難しいことが判明。大長谷等の地域住民は当社の移動販売事業で対応可能と想定。必要時はコミュニティバスを利用してもらう。（現実、コミュニティバスの停車場までが遠くほとんど利用されていない）

●実証実験中は、スーパーマーケットの買い物目的だけでなく、行政センターや郵便局での手続き、JA、病院等を周回するため1日1往復としたが、目的はアルビスをはじめとしたショッピングセンター内で済ますことが多いため、直行便として本数を増やしてほしい意見も聞かれた。

●停車場はわかりやすい建物に設置したが、高齢者は停車場まで歩くことが大変であることから、停車場数もルート内にたくさんあってほしい（歩く距離が短い）との声もあった。

●運行ルートは再調整が必要だと考える。

●10月実施としたが、雨や雪の季節における実施の要望も頂き、時期でも利用者数に影響があると考えられる。

●電球交換や配管工事のことなど日常の困りごとを受ける「よろず相談所」を設置したが利用がなかった。案内が届かなかったのか、本当に要望がないのか、再検証の必要。

●実用化に向け、大型乗用車のレンタカー費用、燃料費、ドライバー費（終日雇用）、有料とした場合の賃金の回収方法、当店で買い物による費用対効果がどのようになるか検証が必要。顧客の満足や継続的な実施にするため、乗車率や乗車回数を増やす計画が必要。

●停車場を設置する際、運輸局への届け出が必要か確認を行う必要（有料の場合）

●旧八尾町内で当社が以前、買い物バスを運行していた際は、十数人が利用されていた。現在、その方たちは片道を歩き、帰りはタクシーを利用しているとのことで、市内のコミュニティバスは、行きたい施設から停留所が離れていることや乗り継がないと行けない、また、運行の本数が少ないため利用する機会がない。このデメリットを解消できるように富山市と連携することも検討すべきである。

●今回、高齢者の乗車と長時間の乗車となることから、中型バスを採用したが、人数や周回数を増加させることとした場合、デマンドタクシーで利用されているような大型乗用車での対応を検討した方が良い。

今回、高齢者自ら買い物に出かける機会の増加が見られ、家族からの勧めがあったと聞いたが、外出する高齢者の増加は、歩く健康や気晴らし、人とのコミュニケーションにつながることも期待できる。若い母親と子どもの乗車機会にもつながったが、自家用車以外の利用で二酸化炭素の削減や、バスに乗る機会が少なくなり、「子どもの体験の場にもなった」との嬉しい声も寄せられており、本事業は高齢者の買い物支援だけでなく、地域を活性化させ、利用を促すきっかけになり得る。



●今後、ますます少子高齢化や免許返納者の増加が予想され、買い物支援ニーズの増加が見込まれるため、買い物弱者の利便性の向上を図ることで地域の活性化につなげていく。

●買い物支援バスで来店された地域住民の方への、「より良い食」のあり方の追求と提案。加えて、郷土愛の醸成としても「食の提案と食文化の伝承」を伝え、健康で生き生きとした毎日を過ごすことができ、地域の皆さん同志が楽しく集える、利用しやすい仕組みを創る。